

令和3年度 自己評価・運営推進会議における外部評価

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日朝のミーティングで職員全員で友朋会、千寿荘の理念を唱和し各自意識して利用者さんへの介護を実践出来ている。			特記事項なし
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には地域の老人会、住民に運営推進委員として入って頂き、行事のお知らせや運営についての助言、指導を頂いている。コロナウイルスの感染状況で地域の歯科や理・美容室に訪問してもらっている。また密を避け花見や案山子見物、千寿荘の畑で芋掘りする保育園児と窓越しに交流する等、出来る範囲で行った。	●コロナ禍で外部との交流も制限が多い中、工夫しながら対応されている。 ●利用者の為、行事を色々考えてもらっていると思います。		●地域、事業所、家族の連携を図り交流を進める機会になるのでは
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で資料として準備している行事報告や千寿荘新聞『鶴亀たより』をもとに意見や感想、助言を頂き、サービス向上に生かしている。	●記述通り ●鶴亀だよりを見て行事の内容がよくわかります。		●運営推進会議での話し合い(助言)等でサービス向上に努める。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主に運営推進会議での包括支援センター長との相談、連絡が多いが、そのほかに行政が中心になって実施されている地域ケア個別会議にコロナ禍のためリモートで参加し、事例に対し助言を頂くなど連携が取れている。	●記述通り ●今後も連携をとって頂くようお願いします。		●行政と事業所との連携助言でのサービス向上に努める。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は法人の身体拘束廃止委員会に出席し、職員へ伝達講習を行い理解を深めている。また研修会や勉強会へも参加している。事業所独自でも3か月に1回研修会を開催し意識向上に努めている。基本方針に身体拘束をしないことを明記すると共に毎朝業務開始前に唱和し声を出して意識づけを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●問題行動(認知症低下)などに対する意識向上に努める勉強会が必要と思われる。 ●職員間の行動を密にして業務が良好である。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	友朋会の高齢者虐待防止・対応マニュアルの学習会や『不適切行為に対するアンケート』を行い振り返りを行っている。また入浴時に全身の観察を行っている。現在家族からの意見・苦情はない。毎朝業務前に接遇に関する標語を唱和し、また職員間でヒヤリハットの事例を基に検討会を行い周知している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●同上 ●上記の様に問題行動あり、聞き入れない場合等虐待防止の為には家族との連携も必要と思われる。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は弁護士が出席される法人の倫理委員会に参加し、事例を基に話し合う機会がある。また職員は看護部教育委員会の人権に関する研修会に参加している。			特記事項なし
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の見学時にリーフレットを渡し簡単な説明を行っている。また入所時には『利用者重要事項説明書』を用いて説明し、ご家族と十分に話し合える時間を取っている。必要に応じて千寿荘担当の精神保健福祉士と連携を図っている。また介護保険改定時には利用者、ご家族に改定した利用説明書を提示し、説明を行い同意を得ている。			●入居時契約の説明、利用者家族への説明・納得が必要と思われる。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	苦情相談の流れを掲示し意見箱も設置している。公的相談窓口のマニュアルも掲示している。訪室時に利用者から生活環境面について困った事はないか尋ねている。ご家族の面会時に利用者を交え近況の情報提供を行っている。年1回の『療養環境アンケート調査』でご家族の意見を運営に反映させている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●生活環境が良好である。 ●利用者家族の意見など聞いて運営推進会議に生かされている。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	千寿荘会議を月1回開催し、運営に関する意見や提案を出してもらい検討している。議事録を記載し全職員に周知できるようにしている。意見を述べる機会を作り相互理解につなげている。管理者は法人の定例運営会議で開設者との意見交換を行う機会がある。また事務局長や事務長、看護部長が巡回時に職員の意見を聞く機会がある。			●職員間の情報交換を行い意思の疎通を図り、聞く機会で反映されている。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の労働安全衛生委員会の「メンタルヘルスサポート」を示し、相談はいつでも行えるように掲示している。労働安全衛生委員会の職場巡視の際にも設備面や労働環境全般に対して要望を述べる機会がある。また法人の看護部長が毎年6月に職場環境調査や職場ニーズ調査を行い、職員から直接意見を収集できる仕組みがある。代表者である理事長には運営会議の場や毎月の管理日誌、種々の書類を提出している。年度末に人事考課システムがあり、職員個々の実績評価をされている。院外の研修を希望する職員に対し時間や費用などの支援が整備されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●職員同士の連携でのおもてなしの精神で接遇が出来る様に務める。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症ケアの質の向上の為に認知症介護実践者研修、介護支援専門員研修に該当者を参加させている。また介護福祉士・介護支援専門員の資格取得に向けての支援や院外への研修会に参加できるように職員の人員を確保している。また看護、介護実践能力評価表に基づき基本的な知識・技術・態度が見についているかを自己評価した上で他者評価を行い段階的なレベルアップに努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●職員間の情報交換を行いながら看護、ケアの向上を図る。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行政が中心に行われている『個別ケア会議』に参加し、意見、助言を頂きサービスの質の向上につなげている。他の職員には伝達講習を行っている。			●同業者との情報交流で質の向上に努める。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関わりの中で、感謝、共感の言葉を使うようにしている。能力に応じた家事などの役割をお願いし、職員と一緒に会話を大切にしている。本人の意思や希望を尋ね、気持ちを尊重すると共に意欲アップにつなげている。			●利用者同士の人間関係を深める。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナウイルスの感染状況を踏まえ、法人の感染予防委員会からの指導をもとにかかりつけ医の病院受診を希望される方へは家族に協力してもらい受診されている。また買い物は行きつけの店に同行してもらい、美容室にも継続して利用できるようにしている。	●施設入所後も入所以前の関係性が継続できる対応は、本人様にとって何よりの喜びだと思います。 ●気になる身体状況を伝えて頂いています。		●コロナの感染状況が落ち着き理容室等、家族と外出出来る様になることを願っています。 ●社会生活に慣れる為、家族・事業所との連携を密にして継続して行う。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者 1～2 名に対し職員 1 名の担当制も取り入れ、馴染みの関係でより利用者の思いや希望など意向の把握に努めている。料理の下準備として能力に応じて魚をさばいたり野菜を刻んだり、食後の後片付け等、生活リハビリとして自立支援をめざしている。			●一般社会生活、共同生活と同じ環境での生活リズムの向上
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者及び家族から面会やライン連絡の際にサービスに関する要望などを聞いている。サービス担当者会議では利用者、ご家族、計画作成担当者、受け持ち職員、精神保健福祉士、芸術療法士等の出席を得て、ニーズや課題、援助内容を検討している。担当医や参加できない職員は事前に情報提供を行い書面での参加としている。	●利用者を中心に家族様や関係者がそれぞれの立場から意見を志合い、計画作成に繋げて頂けています。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●芸術療法等本人の心身の安定と活性にとっても役立たせていただいています。 ●生活の質の向上を図る為問題点などを挙げ関係者との話し合いを行い計画を立てる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス計画書に沿ったケアの内容を共有しながら実践している。実践した内容は援助記録に残し、モニタリングは 3 か月毎に記録している。日常生活動作能力経過表の評価と共に必要に応じて朝のミーティングや千寿荘会議で提案し介護計画の見直しに繋げている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●個別支援計画を基に職員間の情報交換をし質の向上に努める。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に対し、その時々に応じて内科や眼科等受診しやすい環境である。千寿荘前の花壇見物や散歩、法人内の散策など、利用者の状況、ニーズに応じ可能な限り取り組み気分転換を図っている。	●充実した環境の下、対応できていると思います。 ●お医者様が常駐されているので安心です。		●友朋会はお医者様が常駐されているので病状によって医療的な管理をして頂き本人、家族共々安心して入居させて頂いています。 ●住み慣れた環境の持続

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
							●個人に合ったサービスの提供
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設施設内の喫茶店で飲食を楽しんでもらっている。「うれしの」「県民だより」などの冊子を見せたり、情報を収集し、地域の行事への参加に繋げている。コロナ禍で参加はできなかったが、嬉野町の文化祭に作品を展示することができた。	●コロナ禍で地域との関わりも制限多い中、可能な支援を行われていると思います。 ●利用者本位で活動して頂いています。		特記事項なし
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関への受診が必要となった場合は、可能な限り本人、ご家族の希望のかかりつけ医にご家族の協力を得て受診してもらっている。また協力医療機関である嬉野温泉病院や船津歯科医院と連携を図っている。			特記事項なし
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	併設施設に利用者が入院された場合は希望により『在籍取り扱い』の申請をしてもらい、1 か月間を限度に居室を現状のまま確保し戻れる体制を取っている。職員が面会に行き、病棟スタッフとの情報交換を行い、回復状況をみて再入所可能な場合は早期に退院できるようにしている。併設医療機関以外に入院の場合は地域連携室と連携し、診療情報提供書による情報提供を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	『重要事項説明書』に重度化した場合の対応について明記している。入所時に利用者・ご家族に説明し、ご意見を聞きながら方針を共有している。急変時対応希望書に心停止や呼吸停止、外傷などによりご本人との意思疎通が取れなくなった時や、ご家族とすぐ連絡がつかない場合の対応について具体的な項目を選択して頂きサインを得ている。ご家族の要望を取り入れるため併設施設や地域の医療機関との連携を図っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急処置用物品の整備と使用法の研修を行い、応急手当のマニュアルや併設病院への緊急連絡網を明示し活用できるようにしている。AED の取り扱いについては、職員全員が併設病院の研修や伝達講習で活用できるようにしている。急変時の対応(連絡を含む)がスムーズに行えるよう定期的に学習会を実施している。			特記事項なし
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体の火災・災害訓練に参加し、避難における知識・技術を学んでいる。また千寿荘独自でも定期的に初期消火、通報、連絡、避難誘導訓練を行っている。地域との連携については併設病院の協力のほか、法人全体の火災・災害訓練に嬉野医療センターも参加され共に協力体制ができている。消火器や火災通報装置、スプリンクラーも設置されている。	●日頃から災害に対する意識を持ち対応がなされていると思います。 ●引き続き安全対策をお願いします。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●災害対策については全体的に連携が出来ている。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ バシーを損ねない言葉かけや対応をして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	方針に「人権擁護」を掲げ、接遇に関する標語を3 か月毎に更新し、毎朝ミーティングで唱和している。 利用者の人権尊重を意識した関わりが出来るように 努めている。併設病院の教育委員会主催の人権擁 護に関する研修に参加し、意識向上に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希 望や意向、暮らしのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週間サービス予定表や日課表は個別に作成してい るが、利用者のその日の体調や能力に応じた利用 者本位の支援を行っている。 毎日今日は何がしたいか希望を聞いて応えている。			特記事項なし
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と 職員が一緒に準備や食事、片付けをして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1日は赤飯を炊き、食中毒の危険がない期間 で刺身も提供している。また季節の山菜、旬の食材 を使った献立としている。魚は鮮魚店と契約し、新鮮 で種類も豊富で食べやすい形で提供している。誕生 日にはそれぞれ利用者の好物を献立に取り入れて いる。料理の下ごしらえや後片付けなどは、利用者 の意志、希望を尊重し一緒に行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
29	栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立作成については現在は必要に応じて管理栄養 士の指導を貰っている。月2回の体重測定の結果 を参考にカロリーや栄養バランスには留意してい る。個々の利用者の嗜好やアレルギー食材等の把 握も行い配慮している。義歯の有無や状況に応じて 主食の二炊きや副食のキザミ食等、摂取しやすいよ うに支援している。食事摂取量については毎食ごと に記録に残している。水分については食事以外に 10時、15時、入浴後等にお茶やコーヒー等、希望さ れるものを摂ってもらっている。ポカリスウェット等を 常備し必要に応じて摂ってもらっている。			特記事項なし
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎 食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力 に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の際、義歯の装着具合や摂取状況を見てい る。毎食後に歯磨きや義歯洗浄の支援も行ってい る。また毎食後は嗽薬でうがいをしてもらい、飲み込 まれる方にはお茶を利用している。週に1回ポリデ ントによる義歯洗浄や歯ブラシ、コップの洗浄も行い 清潔にも気を配っている。嚥下力や口の周りの筋力 アップを目標に「健口体操」を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を 活かして、トイレでの排泄や排泄の自立 にむけた支援、便秘の予防等、個々に応 じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所日から7日間と年度初めの3日間は排尿排便 の時間や性状を排泄管理表にチェックし、個別の排 泄状況を把握している。誘導はさりげなく早めに声 掛けを行い、安易に紙オムツ等は使用せず、トイレ での排泄に向けた自立支援を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に入浴時間の希望を聞き、入浴の方法や時間帯など、個人のペースで入浴できるように自分で行けることは行ってもらい、他を介助するようにしている。誘導時に拒否のある利用者には声掛けの工夫をしたり、時間の配慮をしている。			特記事項なし
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1日の生活リズムを守りつつ、年齢、身体の状態等に合わせて午睡や休息も取り入れるようにしている。一人ひとりの気持ちや意思を尊重し、寝具の工夫や本人が使用していた物の持ち込みにも配慮している。眠れないときは温かい牛乳や白湯を提供したりしている。			特記事項なし
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調剤薬局から薬の名前、作用、副作用などの説明書もらい、個人のカルテに綴じスタッフが目を通して把握できるようにしている。処方変更や臨時薬が出た場合も説明書もらい、効果や副作用等について伝達ノートに記入し把握できるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族からの情報をもとに本人の意思を尊重しながら役割を決めている。食事の準備、後片付け、食材の下ごしらえや、洗濯物干しやたたみを行ってもらっている。翌日の日付交換など能力に応じ、必要に応じて見守りの中で行われ、役割意識が高まり喜びにも繋がっている。趣味の生け花や書道、陶芸にも取り組まれている。利用者から嗜好品の購入希望があれば代理で購入している。	●利用者様の状態に応じて役割を担って頂くことは生きがいに繋がると思います。 ●利用者が外の空気に触れる事でも気分転換、活性化に繋がっていると思います。		特記事項なし
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の集いで本日の予定のお知らせを行うと共に利用者からの希望を聞く機会を設けている。天気の良い日は屋外で日光浴も行っている。また制限はあっても可能な限り利用者の希望があれば一緒に散歩に出かけ、地域と触れ合う機会としている。	●環境恵まれ、外出の機会が保てていると思います。		特記事項なし
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の中で金銭の所持を希望される方、ご家族の理解や協力が得られる方は金額を考慮した上で所持されている。所持されている方は祐徳稲荷神社参拝や初詣の際にお賽銭をあげられている。毎週日曜日に小遣いを現金出納帳の残高と現金を本人に確認してもらいお金に触れる機会を作っている。			特記事項なし
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在2名の方が携帯電話を所持し、自ら家族に電話をされている。またホールに設置してある公衆電話をいつでも使用できるようにしている。金銭を所持されていない利用者がご家族への電話を希望された場合は、千寿荘のタブレットでご家族に確認の上ライン電話で会話してもらっている。利用者が活動で作成したはがきを利用して年賀状や暑中見舞、絵手紙を出している。			特記事項なし

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	木造平屋建てのホールの天井は吹き抜けで、囲炉裏があり古民家風の建物である。窓は大きく日光は十分に取入れられる。照明は明るすぎないように調整され、窓には内側に全て障子風の二重戸にし、落ち着いた家庭の雰囲気を感じられるように工夫している。 居室は完全個室でトイレや洗面所もあり、室内にクラフトでの作品を掲示し季節感を出している。プライバシーの確保ができている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の集いの時間にその日の体調を含め、一日の過ごし方について自己決定できる機会としている。思いや気持ちを出ししない方には個別に関わり、その方の気持ちに沿うよう心掛けている。			特記事項なし
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族より生活史として情報収集し介護計画に活かしている。利用者に状態やご家族その他利用者を取り巻く環境について、毎年データベースの見直しを行い、最新の情報を基に介護計画に活かしている。			特記事項なし
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日のバイタルサインチェックの際、測定値をその都度伝え、数値を見せて安心してもらっている。再測定が必要な場合も再測定した後安心されるよう伝えている。 本人から心配事などあれば、その都度対応し安心につなげている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週間サービス予定表や日課表は個別に作成しているが、利用者のその日の体調を尋ね把握した上で、体調に応じた利用者本位の支援を行い臨機応変に休息などもとってもらっている。必要に応じて主治医の診察も依頼している。			特記事項なし
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた寝具類やドレッサーなど大切にしていたものを希望があれば身近に置き、いつでも見れる環境にしている。 陶芸療法に参加されている方の作品を共用スペースのホールに飾ったり、ドールセラピーの人形を自席のテーブル上に置いたり安心できる支援を心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝の集いで本日の予定のお知らせを行うと共に利用者からの希望を聞く機会を設けている。天気の良い日は屋外で日光浴も行っている。また利用者の希望があれば感染予防対策を踏まえ、一緒に散歩に出かけ、地域と触れ合う機会としている。	●コロナ禍で従来通りの外出は難しいと思われますが、日光浴や散歩等、可能な対応が図れていると思います。		特記事項なし

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ごとの興味、能力を踏まえ家事活動の一覧表を作成し、その日の気分や状況を確認した上で取り組んでもらっている。 本人の誕生日には食事のメニューを尋ねそれを提供している。			特記事項なし
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者と会話を多く持ち、関心を示す話題、年代から会話の話題を選択し、他の利用者も含め思い出等を回想してもらっている。 昔と今を比較し良い刺激につなげている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特記事項なし
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍では難しいところもあるが、散歩や事業所周辺で法人内の人たちや、事業所横の畑の保育園児の芋ほり、野菜収穫を密を避けて交流できている。	●自然環境にも恵まれ、関わりや交流が図れていると思います。 ●近隣の人たちとの交流は大切な事だと思います。		特記事項なし
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からは日頃から「よくしてくれる」「楽しい」など好意的な言葉が聞かれている。 利用者はもちろん、ご家族もビデオ通話等で状況が分かり、11 月からは外出や面会もできるようになって喜ばれ安心して日々を送られていると思われる。	●利用者様や家族様に喜んで頂ける対応が出来ていると思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	●総合的には利用者、職員間のコミュニケーションが良好で今のまま継続して欲しい。